



図4.21 攻撃者がSMSメッセージを傍受する方法。攻撃者はまったく同じ手法を使って、SMSメッセージを偽造し、私たちからのメッセージであるかのように見せかけることができる

この図ではさまざまなことが起きているので、一連の出来事を明確にするためにステップをリスト化してみましょう。

1. 攻撃者は偽のMSCを使って私たちのIMSIとMSISDNをHLRに登録する。
2. HLRは「私たち」の新たな居場所をMSCに伝える。
3. 私たちがSMS認証を使用するオンラインバンキングにログインしようとする。
4. 銀行はログインを認証するために、私たち宛てのSMSメッセージを送信する。
5. MSCはSMSメッセージをSMS-Cに送信する。
6. SMS-CはHLRに私たちの居場所を尋ねる。HLRはSMS-Cに攻撃者の居場所を伝える。
7. 最終的に、SMS認証メッセージは攻撃者に送信される。

繰り返しになりますが、これは非常に強力な攻撃であるうえに、必要な機器は簡単に入手できるものばかりで、Appleの新しいノートPCよりも安価です。ユーザー名とパスワードに加えた2段階目の認証方法として、SMSを使用するオンラインサービスがどれだけあるか考えてみてください。